

こんなことやっています、保連協！

発行：西東京市保育園保護者連絡協議会（通称：保連協）加盟 ほうやちよう保育園

保連協ってなに？

保連協とは、西東京市内の公立（公設民営）、私立、認証保育園15園が加盟している団体です。

1園だけでは市を動かすことはできないけれど、団結したら叶うことがあります。全ては愛する大切な「子どもたち」のため。保連協活動をしている人たちは皆保育園に子どもを持つ親たちです。

保連協のここがスゴイ！

保連協からの要望は、加盟している園保護者全員の署名をつけての要望と同じ効力があります。

現在15園で合計1440名の園児登録があります。有効保護者数はざっと数えても軽く2000名以上は居ます。2000名以上の署名を集めるのって、結構大変な作業だと思いませんか？

給食の産地公開、放射能測定を行ってほしい

災害時などに一斉メールを送ってもらえるようにしてほしい

夏祭りなどの行事を土曜日に開催出来るようにしてほしい

送迎の時間帯に担任に会えるように配慮してほしい

大規模マンションが建つ予定なので保育園を増やしてほしい

※市の補助により認証保育園新設

これらの意見、全て保連協で要望し、叶ったことばかりです。要望しないと、保護者の声が届かず何も変わりません。そして、保連協という団体で要望することが何よりも早く市を動かすことに繋がります。

保連協っていても民営化になったら市は関係なくなるんじゃないの？

実は民営化園こそ、保護者が保連協と団結して「より良い保育園」のために声を出していかなくてははいけません。市は「公立保育園をそのまま」と市内の園を「公設民営」という名のもとで委託していますが、委託された法人は、かなりの経費削減を強いられ、保育園の質の低下をせざるを得ない状況下にあります。これって本当に「公立保育園の質全てそのまま」なのでしょうか？

保護者の知らないところで起こっている民営化の真実

- ① 委託費（人件費）の削減・・・保育士の人数を指定しているのに、指定人数分の人件費を払っていない
→法人は与えられた委託費で指定された人数を配置するのが絶対条件。せめて、指定人数分は支払うべき
- ② 夕食調理員の人件費無支給・・・民営化の条件で夜間保育、夕食提供が絶対であるのに、それに掛かる人件費が払われていない。現状どの民営化園も法人努力で人件費を捻出している。
- ③ 延長保育料免除世帯の負担・・・市が指定する延長保育料免除世帯が延長保育を利用した場合の延長保育料を法人が被っています。市は免除世帯が利用した延長保育料は法人に支払うべき。

委託法人としては、あれも負担、これも負担と強いられ、赤字経営にならないためにやむを得ず別の部分で経費削減を行うこととなります。具体的には食費、人件費がその対象です。

食費が削減されると・・・	① 以前は手作りおやつが多かったのに、市販のおやつが多くなる ② 添加物の入った食材、化学調味料を大切な成長時期の子どもたちに使う ③ おかずが1品減る、無農薬、低農薬野菜やお米などを使わなくなる
人件費が削減されると・・・	① 職員の入れ替わりが激しくなる → 子どもが不安定になる ② 経験の薄い若い職員が多くなる → 子どもの事故、怪我が増える可能性あり ③ 朝夕パートの人数が減り、大人の目が少なくなる → 子どもの事故、怪我に影響

うちは公立園だから
そういう心配は
無いんだけど・・・

そんなことはありません。現在第2弾民営化計画が出ており、いつ、どこの公立保育園がこの先に民営化になるか分かりません。その時、1園からの要望より、実際に民営化を経験した加盟園を含めての保連協からの要望の方が、はるかに強い効力を発揮します。また、公立園だからこそ1園だけで決められないと言われてしまうことを、保連協から要望することで変わることがたくさんあります。

保連協では、各園がそれぞれの状況を話し合い、お互いの特色を取り入れつつ「より良い保育園」「より良い近隣環境」になるよう活動を続けています。それが結果、自分の子どもが安心して保育園に通っていくことのできる、最善の利益に繋がることだからです。

保連協で活動しているのは皆保育園に通う子どもをもつ保護者たちです

保連協は現状1年任期で各園の保護者会役員さんが交代で定例会に出席し、「園代表として」意見を出し合っています。しかし、非加盟園からも個人会員（年額100円）になつての出席も可能ですし、加盟園の役員でない方も定例会への出席は可能です。定例会は毎月第2土曜日に開催されています。是非足を運んでみませんか？

経験者からはこんなお話しも・・・

初めての子で役員をやり、保連協委員になりました。自分はまだ分からないことだらけでみなさん凄いなと思いました。私もいち保護者として何が出来るかを感じる事が出来て1年間参加して良かったと思います。

自分たちの園だけではなく、他の園の情報を知ることによって繋がっているという安心感と、意見を言う大切さを感じました。そしてその意見が自分の子どもに返ってくると思って頑張りました。

役員で担当にならなかつたら関わることなく、興味を持つことも無かつたと思いますが、大変ながらもやってみて良い経験をしたと思います。他の園でやっていることをうちの園でも導入してもらいたいです。

保連協は年に1回の対市交渉だけではなく、必要な時は常に要望を出すことが可能です。来年度から施行される「新 子ども・子育て支援制度」が、子どもたちや保護者に不利益な制度変更にならないようにしっかりと意見を出していくことが大切だと考えています。そのためには各園の保連協委員だけではなく、保護者1人1人の意見が必要です。是非ご協力ください。 保連協メール：horenkyo@gmail.com